

No.14 子どものトラウマとその対応（講師；今村 明 氏）

○子どものトラウマとその対応

児童虐待

- ・身体的虐待
- ・性的虐待
- ・ネグレクト
- ・心理的虐待

児童虐待による影響

① 身体的な影響

- ・強く揺さぶられるといった頭部への外傷を加えられることにより、脳や神経系に障害が加えられた悔過、知的障害になることもある
- ・ネグレクトなどによる栄養の問題からくる身体的発達の遅れ など

② 心理的な影響

- ・トラウマによるもの（侵入性症状群、回避・麻痺性症候群、過覚醒症状群）
- ・感情や行動の変化（劣等感や無力感、良好な人間関係をつくるのが困難、強い攻撃性）などがあげられている。

○災害時の子どもの心のケア

保護者への注意

- ・保護者自身の心のケアが大切であることを伝える
- ・一時的な退行や災害の絵を描いたり、災害ごっこをしたりすることをとめないように注意する
- ・侵入症状、回避症状などの病的な状態が続いている子どもは、出来るだけ医療機関に紹介するように伝える

災害時の子どもへの対応

- ・安心感がもてるように普段と同じ生活のリズムを取り戻せるよう努める
- ・子どもが混乱している内容を整理する
- ・じっくりと子どもの気持ちを受け止める
- ・子どもに活動の場（スポーツなど友達とのコミュニケーションの場への参加、お絵描きなどで自由に気持ちを表現 など）を与える

○災害時の自閉スペクトラム症の心のケア

気をつけること

- ・一斉に伝えるだけでなく個別に声かけを行う
- ・指示や予定は明確に伝える
- ・否定的なことばでなく肯定的に伝える
- ・興奮した時は、その場から離して気持ちを鎮める 事が大切である。